

(一社) 沖縄県中小企業家同友会 広報誌

ニライみらい

2025年(令和7年) 9月号 450号

「愛情ホルモン」と
「発酵」がつなぐ未来

21世紀に
輝く No.243

沖縄子育て良品(株)

取締役

野添 更紗 氏

<うりずん部会>

同友会ってどういう会?



魅力動画



入会申込フォーム



行事業内



Facebook

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
<http://www.okinawa.doyu.jp>
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



キナリカフェ



沖縄子育て良品

カラダとキモチに
「やさしい」安心感。

野添 更紗氏

《会社概要》

沖縄子育て良品(株)

取締役 野添 更紗 氏

〈うりずん部会〉

住 所 / 南風原町宮平259-101

T E L / 098-996-2552

事業内容 / 子育てに関するグッズの小売、
販売、オリジナル商品企画開発
・卸売販売

21世紀に
輝く No.243

「愛情ホルモン」と「発酵」がつなぐ未来

沖縄子育て良品株式会社。自然派の生活雑貨や食品などを取り扱い、沖縄の子育て世代に寄り添う企業として知られるこの会社には、新たな風が吹いています。その中心にいるのが、取締役の野添更紗（のぞえ・さらさ）さん。二〇二三年末にオープンした「キナリカフェ」の責任者であり、近い将来、同社のバトンを受け取る後継者として準備を進める彼女に、お話を伺いました。

幼い頃から経営の現場に

同社は、更紗さんの母・香さんが二十二年前に創業しました。小学生の頃から「放課後はお母さんと取引先へ」が当たり前。中学生になると店舗でのアルバイト、高校時代は同友会会員企業での勤務も経験します。「頑張っただけなら、総会で社長から表彰されて金一封をいただいたんです。認めてもらえて働くって楽しいなって」と笑います。

もともと料理が好きだったという更紗さん。家族の朝ごはんを作ったり、お菓子を焼いたり。自分の作ったものを「おいしい」と喜んで食べてもらえることが嬉しかったと振り返ります。やがて、「食」を仕事にしたいと思うようになり、「飲食店をやるなら数字も読めない」と商業高校へ進学。高

校卒業後は福岡の栄養士養成校に進み、取得可能な資格はすべて取ったといいます。フードコーディネーターや栄養教諭の資格もその一つ。「せっかくなら徹底的に学ぼう」と、料理の道に対する強い覚悟がうかがえます。

「継ぐ」という決意

福岡での就職も内定していましたが、母からの「沖縄でも就職活動してみたら？」という一言で帰郷。地元の商品製造会社に就職し、商品開発や製造に一年半携わった経験もあります。退職後に、母・香さんから「うちでやってみたい？自分のやりたい事が見つかるまでウチで勉強してみたら？」と誘われ、二〇一八年に正式に入社します。「母からそうと言われるなんて考えもしませんでした」と、当時を振り返ります。

社長の娘だからといって、特別扱いされることは一切なし。販路営業と店舗運営を任せられ、「頑張っただけなら」「サボれない」という毎日の中で奮闘してきました。社長・社員共育塾や経営指針作成講座も受講。二〇二三年からは若手経営者の集まり「うりずん」にも参加し、経営の勉強にも力を入れ始めました。

その頃、コロナ禍の影響で事業の見直しが進みます。香社長が事業売却の相談に動く中、同席した更紗さんは「お客様や取引先は

「会社」についているのではなく、「理念」や「社長」についてきている」と感じたと言います。そして、「創業の思いを引き継げるのは私しかない」と確信し、後継を申し出ました。

カフェの立ち上げと奮闘の日々

かねてより温めていた「食」の事業。二〇二三年六月、隣のテナントが退去するタイミングでカフェのオープン計画が本格的に動き出します。事務所を隣に移し、空いた旧事務所スペースをリニューアル。内装の一部はスタッフとともに自ら手がけ、同年十二月に「キナリカフェ」をオープンさせました。

未経験での飲食店運営、販路営業、そして二〇二二・二〇二三年には「琉球紺の女王」として公務も務めていた更紗さん。「すべてがゼロから。相談できる相手もいないしがむしゃらでした」と振り返ります。それでも一年を経て、ようやく楽しむ余裕が出てきたといいます。

カフェのテーマは「野菜たっぷり＋発酵」。手作り味噌や発酵玄米、塩麹などを取り入れた食事を提供し、発酵玄米マイスターとして、味噌づくりや発酵玄米の講座も開催。今後は納豆や甘酒など新しいメニューや体験も計画しています。

『オキシトシンパワー』を経営に

今年の誕生日に一人で訪れたチベット旅。旅の中で「自分の人生と仕事のキーワードが見えた」と言います。その一つが「オキシトシン」。愛情ホルモンとも呼ばれるこの物質をキーワードに、カフェを「オキシトシン・スポット」にしたいと話します。もう一つは「子どもたち」、そして「地域」。地域全体で子どもたちを育てていくような、そんな場所を目指したいと語ってくれました。

事業内容は時代や環境によって変化していく。でも、「自分が自信をもてることを軸に柔軟に対応していきたい」と更紗さんは言います。

四年以内には事業承継を完了する予定。その準備として後継者育成塾への参加、承継補助金や株式譲渡の検討、財務管理体制の整備、各部門のリーダーとのコミュニケーション強化に取り組んでいます。母と一緒に描いた十年ビジョンを中期経営計画に落とし込み、組織としてPDCAサイクルをまわらせる体制づくりを目指しているところだ。

「自分の手で、みんなが安心して暮らせる居場所をつくりたい」。

野添更紗さんの挑戦は、いま始まったばかりです。

（伴走舎 牧野誠）



7月新会員オリエンテーション

七月十日、産業支援センターにて、七月新会員オリエンテーションが新会員五名を含む、二十一名の参加で開催されました。



グループ討論

七月は、那覇支部設営で司会は支部幹事長の赤峯正己氏が務め、「同友会の歴史と理念」は先月に続き、石原地江副代表が担当しました。



新会員の皆さんと武島那覇支部長

新会員の皆さんは右から、

- ① 仲本 聡氏（沖縄トヨタ自動車(株) 常務執行役員）
- ② 下柳 英雄氏（SANKO(株) 代表取締役社長）
- ③ 佐藤 修氏（代理）(株)沖縄ゆりの花 事業開発本部長）
- ④ 川満 秀樹氏（株)大栄コンサルタント 代表取締役）
- ⑤ 波平 眞明氏（株)グランプログレス 代表取締役）

同友会の魅力発見体験は、(株)琉球補聴器の森山賢社長が、同友会活動と会社経営を車の両輪とした経営体験報告、特に共同求人活動について、その魅力を話しました。その後、バッジ贈呈と新会員自己紹介がありました。

その後、「経営の悩みをどのように解決していますか」をテーマにグループ討論が行われ、新会員を中心に具体的な経営課題が話し合われました。（事務局）

茶論

「あなたは何のために同友会に参加していますか？」何でも話せる友がいるから。経営者としての学びを得るため。よい会社、よい経営者、よい経営環境を実現したい。その答えは、人それぞれだと思います▼私は今、同友会に参加する理由を「人を生かす経営を学び実践するため」と考えています。人を生かす経営を学ぶ際のバイブルとなるのが、今年で発行から50年となる「労使見解」です。また、人を生かす経営を実践するための強力なツールが「経営指針」です。すなわち、「労使見解」に学び、全社一丸となつて経営指針を実践することで、人を生かす経営の実現をめざしているのです▼現在、沖縄同友会で「人を生かす経営」について最も多く学び実践している人は、喜納朝勝さんではないでしょうか。喜納さんは今年度、中小企業家同友会全国協議会（中同協）の副会長を務めます。沖縄同友会から中同協副会長が選出されるのは、三十八年の歴史で初めてのことで、▼今年度の沖縄同友会のスローガンは「新たなステージで人を生かす経営の総合実践を！」志を高く持ち、実践は足元からです。一般社団法人となり、新支部「サンライズ支部」を立ち上げた沖縄同友会にまた一つ、喜納さんの中同協副会長という新たなステージが加わりました。喜納さんの活躍を後押しするために、同友会運動をさらに充実させ、仲間づくりを励んでいきましょう。（宮城光秀）



中小企業魅力発見フェア

若い感性で探る中小企業の魅力と可能性



全員集合



◀ 会場全体



◀ 左下 学生によるプレゼンテーション

七月十七日、アイムユニバースでこのホールにて、企業、行政、学生・学校関係者百六十五名が参加し「中小企業魅力発見フェア」若い感性で探る中小企業の魅力と可能性が開催されました。

中小企業・小規模事業者の存在意義や魅力等に関する正しい理解を広く醸成する機会を国民運動として提供していくため、国は七月の一ヶ月間を「中小企業魅力発信月間」、七月二十日を「中小企業の日」としています。

地域経済を牽引する中小企業は、社会的に大きな役割を果たしています。「中小企業魅力発見フェア」では、自らの魅力に気づくことや伝えることが難しい中小企業が、これからの地域・社会を担う学生と連携し、魅力の発見や価値の向上を目的として開催しています。

このフェアは、内閣府沖縄総合事務局、独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所、沖縄同友会の三者共催で開催し

た中小企業シンポジウムがきっかけとなり、共催に沖縄県、後援に主要経済団体を加え、取り組み始めて3年目となりました。毎月、共催四者からの実行委員会を開催し、繋がりを強めることができたことも成果の一つになりました。

始めに中小企業の日・魅力発信月間の意義目的を星崎浩二実行委員長が「中小企業の日は、二〇一五年に沖縄同友会が開催した沖縄県中小企業憲章シンポジウムにて初めて提起され、その後、中同協を中心に経済団体が国へ提言したことがきっかけで、二〇一九年に制定されました。地域に根ざす中小企業として誇りを持ち、これからも積極的に沖縄県の発展に寄与し続ける存在でありたい」と報告しました。

学生による中小企業魅力発見報告会では、五大学（沖縄大学、名城大学、沖縄国際大学、琉球大学、尚学院公務員法律大学校）の九チームが同友会企業九社の企業訪問、研究を行って導き出した各社の魅力を発表しつつ、課題を解決したらもっと良い会社になるのではないかと若者の視点でプレゼンテーションしました。

企業側からは、「今まで当たり前だと思っていたことが若者から評価され驚いた。もっと自信をもっていこうと感じた」「観光業として知名度は抜群だが、逆に観光客に依存して県民に目を向けていないのではと指摘され、ドキッとした。会社を持ち帰り議論してみたい」と感想がありました。（事務局）



「うりずん」部会 例会

辞める決意が会社を変えた

“経営指針”と僕のリアル

～転機の瞬間、そして梃が紡ぐ未来～

若手経営者部会「うりずん」は七月二十九日、沖縄県立博物館・美術館で例会を開き、(株)梃の高松茂夫社長が「辞める決意が会社を変えた“経営指針”と僕のリアル」～転機の瞬間、そして梃が紡ぐ未来～をテーマに報告しました。会員・ゲスト合わせ四十四名が参加し、会場は熱気に包まれました。

千葉県出身の高松氏は、東京でデザイン制作や広告業務を経験した後、二〇一四年に沖縄へ移住しました。二〇一九年に同僚と共に(株)梃を設立し、ウェブ制作、動画制作、広告運用、ブランディングなど幅広いクリエイティブ事業を展開してきました。しかし、経営方針をめぐって対立し、一時は会社を離れる決意を固めました。最終的に相方が退社し、自ら社長を引き継ぐこととなりました。

当時の会社には経営理念がなく、「赤字を黒字にすることだけを目標に、色々広がっていた事業をクリエイティブ分野に一本化しました。社員と共に受注精度を高め、二〇二三年度には過去最高益を達成しました。初めて賞与と昇給を実施し、社員の士気も大きく向上することが



グループ討論

できました。

同友会では支部役員も担っていましたが、あまり活動に重要性を感じていなく、退会しようと考えていました。そんな中、「同友会に入ったら、経営指針作成講座だけは受講した方がいい」とアドバイスをもらい、そこまで言うのなら最後に受講して辞めようと考えていましたが、それが転機となりました。経営指針作成講座では、労使見解を学び、「社員を第一に幸せにする」という理念に確信を得ました。「あなたを幸せにして私も幸せになる」を掲げ、社員・外部パートナー・顧客・社会の順に大切にする姿勢を成文化することができました。さらに社員が

共感できる行動指針も設定し、会社の進む方向を明確化しました。

また、五カ年計画を策定し、営業強化や経費削減に加え、AIを活用した業務効率化にも取り組んでいます。提案資料や動画の絵コンテ作成にAIを導入し、社内では月一回の勉強会を実施しています。将来的にはAI導入支援事業を新たな柱とする構想も語りました。社員からは「意見が言いやすくなった」「会社の成長を実感している」と言ってもらえるようになりました。

高松氏は「経営指針を通じて会社は一八〇度変わりました。志を共有できる経営者と学び続けられる同友会の存在は大きいです」と締めくくりました。

(事務局)



報告者の 高松 茂夫 氏(左) と 座長の 金城 秀治郎 氏(右)



第60期経営指針作成講座が報告会と修了式を開催



記念撮影

7月号では事前学習会から第3講までをご紹介します。
今号では、第4講から報告会・修了式までを掲載します。

第4講は七月五日、(株)フォーカスの當銘将也専務執行役員を講師に「経営方針の成文化」の講義を開催しました。まず「経営方針とは」を理解してもらい、SWOT分析やクロスSWOT、方針検討シートなどワークを展開。講義の最終で書き上げた「経営方針検討シート」をもとに、各グループごとに受講生の発表とサポーターからアドバイスなどを受けていました。

第5講は七月十二日に、(同)グラッドの大城章代表が「財務分析、利益計画・経営計画」を開催しました。講義を受けたあと自社の第一講で出した財務分析をもとに「中期利益計画、中期経営計画」をワークで作成しました。三年分の決算書を片手に、自社の状況を把握し、利益計画を計算しますが、日々の財務諸表を扱っていない方や数字に慣れてないと、毎回時間を要する作業となっています。

第6講は最終講として七月二六日に開催しました。第一講から振り返り、「経営理念」「十年ビジョン」「経営方針・経営戦略」「利益計画・経営計画」のテーブルに分かれ、受講生は「指針書」の完成を目指しました。最後に実

践編として(有)沖島電機の実業田一郎社長が講師をつとめ、自社での状況や二十三年間社長をつとめたマエダ電気工事(株)(現会長)での実践の状況を語りました。作成した指針書を実践し、社員さんと共有するには一朝一夕にはいきませんが、自分にあった方法や先輩経営者の会社視察など、同友会をフル活用し、良い会社を目指しましょうと激励し、第六講は終了しました。

八月五日に開催した「報告会・修了式」は、受講生十七名中十五名が報告し、修了生は十六名となりました。発表は「経営理念」「十年ビジョン」「経営方針」を一人七分で質疑応答を設けました。会場からは講座を受ける前と受けた後の考え方の変化や、数字目標、十年ビジョンと計画とのずれなど質問や感想が出されました。受講生からは「見直しのために」「十年ビジョンの精度を上げる」「理念を達成したかった」と最初の目標も語り、仕上がり満足できたとの声が多く聞かれました。

修了証の盾を贈呈後、閉会挨拶で比嘉良太経営委員長より「今後さらに実践を重ねて『人を生かす経営』をめざし、毎年の見直しや発表会など取り組みを計画し、同友会の目的であるよい会社づくりとともに頑張りましょう」と激励の言葉が送られました。
(事務局)



那覇支部経営基礎講座 第1講～3講

【第1講】

「経営者のための生成AI活用入門」
～デジタル変革の第一歩～



新井 良直 氏

七月八日の第1講は、夢づくり沖縄代表・新井良直氏を講師に迎え、今話題の生成AIをテーマに開催しました。ChatGPTやGammaなど具体的なツールを用い、AIが文章・画像・動画を自動生成し、マーケティングや顧客対応、社内業務効率化、新商品開発に役立つ事例が分かりやすく紹介されました。特にSNS広告や販促資料を短時間かつ低コストで作成できること、チャットボットによる二十四時間顧客対応、データ分析による経営判断のサポートなど、すぐに実践できるヒントが満載。参加者からは「外注せず多彩なコンテンツが作れる」「少人数でも新しい企画に挑戦できるヒントを持ち帰れる」との声が寄せられました。専門知識がなくても導入可能な生成AIは、経営を力強く後押し

しする有効なツールであることを実感できる講座となりました。(株)プレイバックシアター研究所・河野信之

【第2講】

職場のルール(就業規則)を定め、
安心できる職場環境を！



野口 安計 氏

七月十八日の第2講は、「職場のルール(就業規則)」を定め、安心できる職場環境を！」をテーマに、社会保険労務士の野口安計氏が講師を務めました。就業規則は職場の憲法であり、十人以上の事業所では作成・届出が義務です。法改正や社会の変化に応じた見直しが必要で、ハラスメント対策としての規定整備や相談窓口の設置、二〇二五年改正の育児・介護休業法への対応、柔軟な働き方の導入などが求められます。また、就業規則の変更時には労働者代表の選出と意見聴取が必要で、従業員への周知も重要です。ハラスメント相談窓口の担当者の

明確化、対応マニュアルや研修の実施、有給休暇のストック制度、治療と仕事の両立支援など、職場環境の整備に役立つ具体的な事例も紹介されました。

自社の就業規則の見直しを行います。労働環境の改善にもつながります。(三重金属工業(株)・上地裕介)

【第3講】

人と人が育つ土壌をつくる
メンタルヘルス



河野 信之 氏

七月三十日、(株)プレイバックシアター研究所の河野信之氏を講師に迎え、「メンタルヘルスの実践講座」を開催しました。

激しい変化の時代においては、経営者自身の心身のコンディションが会社の雰囲気を作り、意思決定の質を左右するという話がありました。また、従業員のメンタル不調は生産性の低下を招き、年間七、三兆円もの経済損失を生むというデータも示されました。メンタルヘルス対策は個人の問題ではなく、経営に直結する重要な課題なんです。

講座では、ストレスの定義や悪化のメ

カニズム(三段階)を解説。適度なストレスは組織を活性化させる一方、過度なストレスは心身の健康を損なうため、自己回復の限界ギリギリの段階で適切に対処することが重要と述べられました。セルフケアとしては、オンとオフを意識的に切り替えることや、家族・職場以外の多様な人間関係を持つことが効果的だと提案。参加者間でも様々なストレス発散法が共有され、活発な学びの場となりました。(同)グラッド・大城章)



第1講の受講風景

宮古支部 学習会

支部が地域と

どうかかわっていくかを学ぶ



報告者の 星崎 浩二 氏

七月三十日、宮古島市ICTセンターにて「中小企業振興基本条例の学び」地域としてのかかわり」のテーマで支部学習会を開催し、十五名が参加しました。二〇二五年三月末に「宮古島市中小企業振興基本条例」が制定されたことに伴い、「宮古島市中小企業振興基本条例」の意義や活用方法を星崎浩二「沖縄同友会副政策委員長から学びました。

今年度宮古支部に政策委員会ができ、これからいろいろ勉強して行こうという熱い思いが沸き上がっています。今回のテーマは同友会に限らず宮古島の中小企業経営者にとって重要であるため、幅広く参加を呼び掛けた結果、非会員を含む十五名が参加しました。

星崎氏が「宮古島市中小企業振興基本条例」に記載されている重要ポイントを解説し、その後は地域の課題をどのように掘り起こし、どのように政策提言にま

とめて行政に提出して行くか、一連の流れで説明をしていきます。那覇市は、「那覇市中小企業振興審議会」が休眠状態



懇親会で乾杯

したが、同友会那覇支部政策委員会として、「那覇市中小企業振興会議」の設置を求める政策要望・提言を出したのをきっかけに「審議会」が復活したとのこと。その後も那覇支部政策委員会は毎年那覇市へ政策要望提言を提出していき、その

結果として那覇支部政策委員会から四つの審議会に委員を派遣し、行政との信頼関係を築いてきたという話に参加者全員が真剣に耳を傾けます。那覇支部にどのような活動をしているか興味深い話が続きます。

また、沖縄県や那覇市への政策提言活動の成果事例として、りっか沖縄(U-IJターン)、スタートアップカフェ設置等、中小企業家同友会の枠を超えた、まさに「市民の生活が向上し、地域に還元されている」具体例の説明がありました。

続いて質疑・応答に入り、政策提言、振興審議会の構成メンバー、オーバーツーリズム等多岐にわたる質問が続き予定時間をオーバーします。グループ討論はありませんでしたが、質疑・応答を通して参加者の疑問や考えが共有できました。

最後に星崎氏は「宮古支部の皆さんで知恵を出し合い議論して、政策提言を考えてほしい。正解はない。試行錯誤が大切です。」という言葉で締めくくりました。

参加者からは「今日の説明で今後具体的に何をしなければいいかわかった」ととてもわかりやすい説明だった「同友会宮古支部が地域とどうかかわっていくかを学ぶことができた」などの感想がありました。

閉会后、場所を移動して懇親会を開催。学習会参加者十五名のうち十名(非会員二名)が参加し、学習会の感想、今後どのように条例とかかわっていくか、その他もろもろの話で盛り上がりしました。

(アナタビ宮古島・愛川直樹)



全体風景



碧の会 7月部会例会

地域に根ざした 「メイドイン沖縄」を全国・世界へ



報告者の 澤岬 千秋 氏

碧の会七月部会例会は七月三十日、沖縄産業支援センターにて、「しなやかに一歩前行く進化系内助の功」のテーマで、(株)御菓子御殿専務の澤岬千秋氏が報告し、三千七人の参加で開催されました。報告の前段には、(株)アメニティ顧問の伊志嶺智子氏による「グループワーク研修」も行われました。

(株)御菓子御殿は一九七九年にポルシェ洋菓子店として創業し、それから四十六年を経て、沖縄を代表する企業となりました。澤岬氏の話は、これまでに幾度の経営危機を乗り越えて来られた、かなり聞き応えのある報告となりました。

紅いもタルトの開発秘話に始まり、恩納店開業直後に起こったアメリカ同時多発テロの危機を乗り越え、順調に成長。しかし、二〇二〇年新型コロナウイルスの影響は大きく、一点の明かりも見えな

くなるほどの状況を経験するも、キャッシュフロー予測表を作成し資金繰の立て直し、雇用調整助成金の活用、在庫商品の地元販売とスピーディーかつ柔軟な対応等々、地元客の支えにより乗り越えることが出来ました。

一方で、コロナ解禁後に多くの社員が退職しましたが、残ってくれた社員と共に社内体制の強化と、品質・労務管理の向上の徹底、機械導入による省人化で生産性向上と利益確保を実現することで、社員には給与、賞与で還元することができました。また、サツマイモ基腐病や紅いも生産農家の減少による原料不足問題も顕在化。調達体制の再構築や在庫管理



報告者と 座長の 宮里 早苗 氏



全体風景

の改善など、さまざまな問題に真剣に取り組む姿勢に、元氣と勇気が頂けたという声が各グループからあがりました。

今後は、理念・ビジョン・バリューを社員と共有し、「メイドイン沖縄」の旗印のもと、地域に根ざしつつ全国・世界への展開を目指していきたいと力強く締めくくりました。私達の想像を絶する状況でも、ぶれることなく成長戦略を貫いた御菓子御殿の経営と澤岬千秋専務の筋の通った姿勢に感動いっぱい素晴らしい例会となりました。

(有)アンカー商事 與崎文美)



集合写真



八重山支部 7月支部例会

仲間と乗り越えた「再建の物語」

「諦めない心が生んだ、社員との強い絆」



一瀬 宗也 氏

七月三十日、うみそら保育園にて聴覚障害者向け情報保障サービスを手掛ける㈱アイセックジャパン社長の一瀬宗也氏による『経営者は絶対に諦めないかん！』をテーマにした経営体験報告が行われ、八名が参加しました。

一瀬さんが語ってくくださったお話は、私たちの心に深く響きました。聴覚障害者支援という社会貢献性の高い事業を続けながら、幾多の困難に立ち向かってきた、まさに「再建の物語」でした。同社は、ライブ字幕サービスや電話リレーサービスなど、聴覚に障がいを持つ方々の生活を豊かにするサービスを提供しています。かつては、メディアで「日本を救う次世代ベンチャー100」に選ばれたほどの注目企業でした。

しかし、急成長の裏側には大きな課題が潜んでいました。起業支援事業で社員を大幅に増やしたものの、助成金

が終了すると、給与や社会保険料の支払いが重くのしかかり、月二千万円もの支出が続く厳しい状況に陥ってしまったのです。給与遅配やリストラという、経営者として最も辛い決断を迫られることになりました。

そんな絶体絶命のピンチでも、一瀬さんが決して諦めなかったのは、「社員のために最後まで責任を持つ」という強い想いがあったからだと言います。役員報酬を減らし、個人でも収入を確保しながら、金融機関との粘り強い交渉を続け、ついに資金繰りを安定させました。

そして、最も感動的だったのが、最大五十名の社員に未払いとなっていた総額一三七三万円を、二年半という歳月をかけて全額返済されたことです。労働基準監督署からも指導を受けながらも、一人の社員も労基署に訴えることなく、返済を待ってくれたそうです。これは、一瀬さんが社員一人ひとりと向き合い、信頼関係を築いてきた証しに他なりません。現在の社員数は八十五名となり、活気にあふれた会社へと見事に復活を遂げています。

報告の中で、一瀬さんは同友会の仲間たちの存在が大きな支えになったと語っていました。「二人で抱え込まず、仲間に

相談することで、心が救われた」という言葉は、私たち同友会会員が持つ、最も大切な財産を改めて教えてくれました。この素晴らしい報告から、私たちは「諦めない心」と「仲間の大切さ」という、

経営者にとって何よりも大切な教訓を学びました。これからも、互いに支え合い、共に成長していきましょう。

(同) 松島 奥平あかり



津波警報のため、急遽、会場変更になりました



ⅠT部会全国交流会 in 大阪

持ち回りで来年は沖縄開催！

(東京・大阪・福岡・沖縄)



高橋氏と伊波氏

七月十一・十二日、毎年、各地同友会で、持ち回り開催している東京・大阪・福岡・沖縄の四同友会ⅠT部会交流会が、今年は大阪で開催され、沖縄同友会からは、ゆいまゝる部会・情報委員会の伊波竜作委員長と高橋庸正副委員長の二名が参加しました。

一日目は、午前十一時にJR新大阪駅に集合し、一九七〇年大阪万博の跡地に整備された万博記念公園を見学しました。万博記念公園は、「人類の進歩と調和」というテーマを今に伝え、当時を知らない世代にも「未来」の感動を届けてくれます。園内には太陽の塔をはじめ、四季折々の花々が楽しめる自然空間や日本庭園、博物館、遊具エリアなどが点在していました。今回は、その中でも「太陽の塔内部ツアー」と「EXPO・70パピリオン」を見学しました。その内部は岡本太郎の作品が展示され、幻想的な世界で構成され、

驚きと共に感動や楽しさも味わうことができました。

その後、アークホテル大阪心斎橋にて、総会と懇親会が開催され、総会では高橋氏がDX認定企業の大宮工機(株)の取り組み事例を発表し、懇親会では伊波氏が、次年度開催県として決意表明を兼ねた挨拶がありました。

二日目は、オブショナルツアーとして、①関西万博EXPO2025②関西クラシックゴルフ倶楽部③なんば花月の三コースに分かれて参加しました。参加した二人はなんば花月コースに参加し、その後の懇親会まで含めて楽しい時間を過ごしました。

(株)グローバルリンク・伊波竜作



パピリオン内部



懇親会



中同協副会長就任激励会 沖縄同友会幹事の喜納朝勝氏

七月三十一日、沖縄ホテルにて、中同協副会長に就任した喜納朝勝氏の激励会が四十一名の参加で開催されました。喜納氏は、去る七月三・四日に神奈川県で開催された中小企業家同友会全国協議会第五十七回定時総会において、九州・沖縄ブロックからの副会長として選出されました。

これまでブロックの副会長は福岡同友会からの選出で、沖縄同友会からの選出は初めてであり、全国の同友会運動の発展において、喜納氏の活躍が期待されます。

激励会には、(株)丸忠の喜納千恵子専務も参加し紹介され、花束が贈呈されました。また、歴代代表理事を含め、多くの方がスピーチされ、中同協副会長の喜納氏を支えるべく、沖縄同友会の会勢回復を決意する発言もあり、活気に満ちた内容となりました。(事務局)



激励会の参加者

地域の食材を繋ぎ広げる 山吉フード株式会社の挑戦



会員ホット情報

今おすすめだよ!



長山さんオススメのチャージャー



丁寧にカット



豊富な商品ラインナップ

■ 多彩な経験から食品卸へ ■

名護市為又に本社を構える山吉フード(株)は、食材の加工・卸、B B Qセットレンタルから氷の販売まで幅広く手掛ける食品会社です。二〇一七年の設立以来、「安心・安全な食材を地域に届ける」をモットーに、北部地域に根差した事業を展開しています。

代表取締役の長山勝美さんは、これまで、留学生受け入れ事業や不動産業、塩製造、観光船の運営など、多彩な業種を経験。幼少期から家業の刺身屋や肉屋を手伝い、魚や肉の扱いに慣れ親しんできました。又吉観光農園との縁から食品卸業に乗り出し、現在に至ります。

■ チャージャー豚の魅力を多くの人に ■

取扱商品は、県産和牛から輸入牛、豚肉、馬肉・魚・野菜・冷凍食品・氷など種類も豊富ですが、中でも力を注ぐのが、アグーブランド豚の「チャージャー」。アグーの血統を七五%受け継ぎ、旨味成分グルタミン酸が豊富で、脂の融点が高く口の中ですっと溶ける上品な味わいが魅力です。「脂が軽く、体に残りにくい。ほかの県産豚や

外国産豚と食べ比べると、香りも食感も全く違います」と長山さん。純血アグーは出産頭数が少なく飼育も難しいため流通量が限られますが、チャージャーはその風味や食感を受け継ぎながらも比較的生産数を増やしやすのが強みです。さらに山吉フードでは豚をまるごと一頭買いすることでコストを抑え、リーズナブルな価格で提供できる体制を整えています。

チャージャーは、北部農林高校が生産するブランド豚で、名護市のふるさと納税返礼品にも採用されています。山吉フードは専属販売契約を結び、在庫管理や販促も担っています。「地域ブランドは知ってもらい、信頼を積み重ねてから広がるもの。チャージャー豚も同じです。時間をかけて、お客様と一緒に広げていきたいですね」と語ります。



氷も扱っています

■ 地域を支え、全国へ届ける ■

山吉フードは食の提供を通じた社会貢献にも力を入れています。お手頃に百円単位で買える商品もあり、「シングルマザーや困窮世帯、大学生をはじめ、頑張っている人たちを応援したい」という思いも込め、日々の食卓に取り入れやすい工夫をしています。

また、贈答用ラッピングや冷凍直送にも対応しており、特にアグーやチャージャーは県外では希少価値が高いため「親戚に贈ったらすごく喜ばれた」といった声も多く寄せられます。夏は冷しゃぶ、冬はしゃぶしゃぶと、一年を通じて楽しんでもらえるそうです。

今後はやんばる発のチャージャー、アグーの魅力を県外にも広く発信し、その美味しさを全国へ届けていく考えです。飲食店への卸はもちろん、個人でも購入可能です。店頭では全国冷凍直送にも対応します。「県外の方から『こんな美味しい豚肉は初めて』と言われるのが何よりうれしいですね」。店舗は水曜定休、直接の来店が一番お得とのことです。(株)アイランド・プロジェクト・新井 章仁)

《会社概要》

山吉フード株式会社

代表取締役 長山 勝美 氏

〈北部支部〉

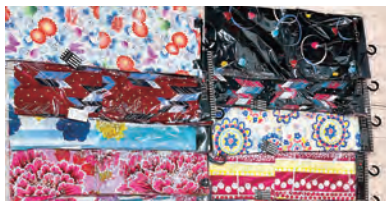
所在地／沖縄県名護市字為又1220番6

T E L／0980-43-5470

事業内容／食材の加工・販売、氷の販売・配達、BBQセットレンタル

U R L／<https://yamayoshi8.wixsite.com/food8>





キモノバナの歩み

北中城村にある「(株)キモノバナ」。訪ねたのは、いつも和洋を美しくミックスした装いが素敵な代表取締役 山城 咲乃さん。店舗での着物レンタルや撮影サービス、リユース着物の販売に加え、米軍基地内の写真スタジオ運営、ポップアップ店舗の展開など、幅広く事業を展開しています。

起業の原点は「着物が好き」という純粋な想い。自身の着物をフリーマーケットで販売したところ好評を得て、徐々に顧客が増加。手応えを得て仕入れ販売を始め、2009年に創業、2020年に法人化しました。洋服をすべて処分して一年間着物だけで生活したこともあるそうで、その情熱には感服します。

経営の壁と理念の再構築

順調な滑り出しの直後、コロナ禍で大打撃。赤字は1千万円を超え、経営の危機に直面しました。しかし、同友会の経営指針作成講座との出会いが大きな転機となりました。

「数字の見方が全く変わり、経営者としての基礎を初めて学びました。それまで理念もなかった」と山城さん。目の前の業務をこなす“See”はできていたが、全体を俯瞰する“Watch”の視点が欠けていたと振り返ります。その学びを経て、「キモノバナ」としての経営理念を明文化しました。

《会社概要》

(株)キモノバナ

代表取締役 山城 咲乃氏

〈中部支部・碧の会〉

住 所 / 北中城村喜舎場1380-21380-2

TEL / 080-3907-2294

事業内容 / 小売業（販売の販売、レンタル、着付け、撮影）

○私たちは体験を通して、お客様に楽しく喜びにあふれた思い出作りを提供します。

○私たちは愛をもって、常に助け合い、感謝を忘れず、それぞれの幸せな未来に向けて学び続けます。

○私たちは地域の文化を学び、理解し、地域社会に貢献できる企業を目指します。

理念は英語版も用意し、社員への浸透を目指して、日報に毎日記載する仕組みを構築中。「以前、社員から“もっと褒めてほしい”と言われたことで、伝えること・褒めることの大切さを改めて気づきました。理念を共有することで、社員との信頼も深めていきたい」と語ります。

ゆかた・着物文化を未来へ

山城さんは今年、「一般社団法人 日本ゆかた普及協会」を設立。着付け講座や講師育成、資格制度を通じて、ゆかた・着物文化の継承と発信に取り組んでいます。ボランティアで中学校でのゆかた着付け体験教室も十年続けており、生徒たちが自らの手で着付けを学ぶ貴重な機会となっています。

目指すのは、「着物を自分で着られる人（自装）」「着付けを教えられる人（他装）」の裾野を広げること。縮小傾向にある着物業界にあって、ゆかたと振袖は成長分野。「この文化を守り発展させるため、具体的な目標を一步步実行していきたい」と力強く話します。

「サキノのサクセスストーリーはこれから！」という言葉どおり、その歩みは今後さらに注目です。（司法書士法人なかいし事務所 新城千夏）

わが社の
ポランシー

第328回



(株)キモノバナ
代表取締役 山城 咲乃氏
〈中部支部・碧の会〉

この文化を守り発展させるため、
具体的な目標を一步步
実行していきたい





役員研修講座 第4講



報告者の 又吉 里美氏と真栄田 一郎氏

七月二十二日、沖縄産業支援センターと北部・宮古・八重山でのサテライト会場にて、役員研修講座第四講が五十二名の参加で開催されました。

第四講は、「『同友会型企業づくり』を実践している企業に学ぶ」のテーマで、二名が報告。「労使見解」の考えに基づき企業づくりをすすめる同友会として、経営指針を作成し、実践するためのツールとして企業変革支援プログラムをどう活用するか。登録とあわせて学びを深めました。

報告は、(有)沖縄電機の代表取締役・真栄田 一郎氏から、「経営指針の実践編」を、(有)スタプランニングの執行役員部長・又吉里美氏からは、「企業変革支援



報告を聞く役員の皆さま

プログラムの実践編」の発表となりました。

参加した支部・部会の役員からは、「経営指針の実践こそが会社の成長に不可欠であることが確信できた」「これまでの講座で最も役員に必要な内容だった」「自社の経営指針について再考する機会になった」「経営指針と企業変革支援プログラムの関連性が理解できた」等々、感動的に受けとめられ、充実した講義となりました。(事務局)



共同求人学習会

求人票の効果の出し方 & 魅力的な企業説明プレゼン方法

七月二十九日、共同求人委員会は、「求人票の効果の出し方・魅力的な企業説明(プレゼン)方法」の学習会を十四名の参加で開催しました。

「求人票の効果の出し方」は、ハローワーク那覇学卒部門の屋富祖正男氏が講師を務め、「求人票を出してはいるが、応募がないという課題をお持ちではないですか?」との問いから、選ばれやすい求人票の出し方や注意点について説明がありました。

「魅力的な企業説明(プレゼン)方法」は、(株)cavittieの社長 栗国傑氏が講話し、合同企業説明会や会社訪問において、会社の魅力を伝えるには、求職者にとってなにがポイントで、どうアピールすればよいかな等を具体的に話しました。

(事務局)



学習会の全体風景

2025年4-6月期景況調査の結果について(見解)



業況判断は後退 人件費と仕入額の増加が経営課題として迫る

～ 人材確保と付加価値の増大をどう実現するか力点強化の必要性が増す ～

2025年7月16日
(一社) 沖縄県中小企業家同友会

沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した1,066社を対象に5月30日(金)から6月27日(金)の期間、「2025年4-6月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を発表します。(本文中、特に断りのない限り前年同期比です)

回答企業数

(1) 回答企業
160社 回答率 15.0%

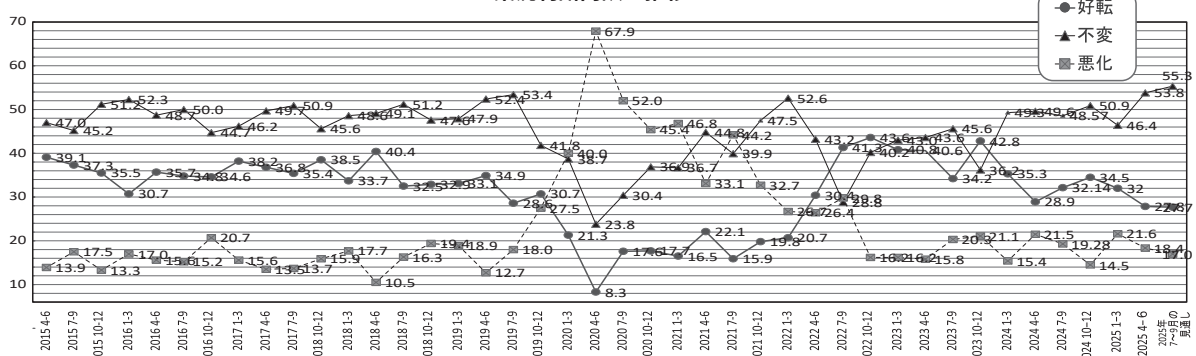
(2) 業種別 () は実数
サービス 41.9% (67)
流通・商業 28.8% (46)
建設業 12.5% (20)
製造業 8.1% (13)
情報 8.8% (14)

(3) 規模別 従業員数
＜正従業員＞ 平均 24名
＜臨時従業員＞ 平均 8名

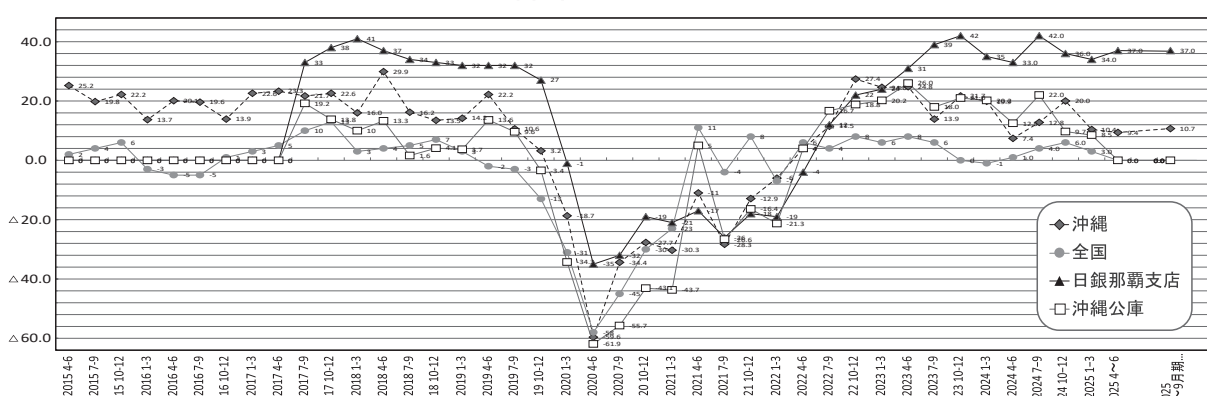
- 業況判断 DI** 内訳からは、前期(1-3月期)と比べて、「好転」「悪化」ともに減少し、不変が増加した結果、DIは若干の後退で、実質的な横ばいとみることができる(△1.0)。
- 売上高 DI** 内訳からは、前期(1-3月期)と比べて、「増加」「減少」ともに若干の増えたことにより、DIは改善、実質的な現状維持となっている(+1.9)。
- 経常利益 DI** では、「不変」が増加し、その分「好転」「悪化」が減少した結果、DIは後退、実質横ばいとなっている(-0.5)。
- 資金繰り DI** は、前期(1-3月期)と比べて改善しており、建設業で大幅な改善、その他業でも改善している。
- 経営上の問題** は、全体的には「人件費の増加」「仕入単価の上昇」「従業員の不足」が主要な課題として引き続き上位に挙げられており、とくにサービス業では「新規参入者の増加」が、また、製造業と情報で「管理費等間接経費の増加」が高く挙がっている。
- 先行き** 全業種で改善傾向の維持が見込まれている。(9.4⇒10.7=+1.3)。業種別では、建設業、製造業は後退が見込まれているものの、サービス業、流通・商業では改善傾向の維持、とくに情報では大幅な改善が見込まれている(7.1⇒28.6=+21.5)。

	業況判断 DI			売上高 DI			経常利益 DI			資金繰り DI		
	2025 1-3 月期	2025 4-6 月期DI	増減	2025 1-3 月期	2025 4-6 月期DI	増減	2025 1-3 月期	2025 4-6 月期DI	増減	2025 1-3 月期	2025 4-6 月期DI	増減
全業種	10.4	9.4	-1.0	11.2	13.1	+1.9	2.4	1.9	-0.5	△3.2	1.9	+5.1
サービス業	15.4	7.5	-7.9	15.4	11.9	-3.5	2.6	△3.0	-5.6	△15.0	△25.7	-10.7
流通・商業	12.5	4.4	-8.1	18.8	17.4	-1.4	6.4	△4.4	-10.8	0.1	△8.8	+8.7
建設業	3.6	25.0	+21.4	0.0	20.0	+20.0	△3.5	21.1	+24.6	0.0	50.0	+50.0
製造業	△14.3	15.4	+29.7	△14.3	15.4	+14.3	△21.5	16.7	+38.2	△28.7	△15.4	+13.3
情報	33.3	7.1	-26.2	33.3	7.2	-26.1	33.3	7.1	-26.2	50.0	57.2	+7.2

業況判断内訳の推移



沖縄と全国、他機関の比較 (業況判断)



聴覚障がい者雇用のお手伝い

雇用の機会を増やしませんか？

『企業版字幕電話サービス』

話すことのできる聴覚障がい者の方
年齢を重ね聞こえに不自由を感じている方へ

企業の電話対応をもっとバリアフリーに！



サービスの特長

- ・企業の電話番号がそのまま使える！
- ・受ける・掛ける、どちらも対応可能！
- ・ほぼリアルタイムで文字表示！
- ・スマホやタブレット、PCに簡単表示！
- ・オペレーター手入力・AI音声認識のハイブリッド方式！
- ・聴覚障がいの有無を問わず、全社員が利用可能！

モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)

「e-ミミ」とは、話した内容をリアルタイムでWEB上に文字を配信する仕組みです。
現地の音声スマートフォン等で弊社センターにつなぎオペレーターがリアルタイムで文字にし
手元のタブレットやスマートフォン、PCに表示されます。
プロジェクターを使えば多くの方が同時に見ることも可能です。

POINT

表示が
速い！

準備が
手軽！

内容が
正確！

詳しくはお問い合わせください



株式会社
アイセック・ジャパン

本社 TEL098-972-6888 FAX098-987-5627

〒904-2203 沖縄県うるま市字川崎 468 番地 いちゅい具志川じんぶん館 1F

<https://www.isceco.jp/>



カラオケ同友会

営業時間：17時 ～ 23時

休日：日曜・祭日

料金：お一人様 3,000円(歌い・飲み放題)

☆持ち込み自由

一日ママ・マスター

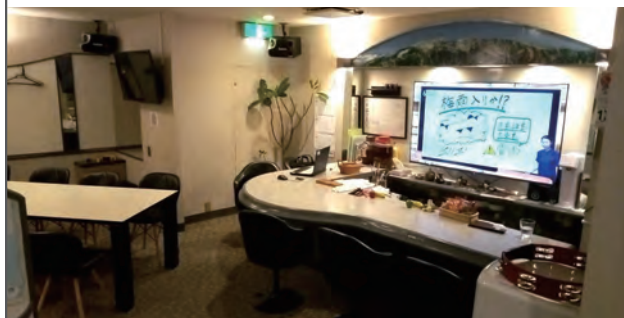
(ご本人歌い放題・飲み放題)
友達呼んで大盛り上がり！
入客数×1000円バックします。
☆持ち込み自由

日曜・祭日限定 カラオケボックス利用

お一人500円(無制限)
※鍵を渡しますのでご自由に！
☆持ち込み自由・カラオケ使用のみ

《予約申し込み》090-6864-0359(島尻)

住所：那覇市東町4の14 イースタウンビル4F



あなたの想いを
カタチに。

Since 1955

We give form to your creations or ideas.



文進印刷株式会社

URL: <http://www.bunshin.net/>

〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4

TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357